

安全で快適な生活環境の まちづくり

地球環境への負荷軽減による自然と共生するまちづくりを目指して、太陽光発電施設などの費用助成を行う住宅用新エネルギー等導入促進事業を継続して取り組みます。

生ごみ減量化を目指した電気式生ゴミ処理機購入助成は、継続して実施することとし、新規に給食センター、宮原小学校、氷川中学校、常葉保育所の調理場に業務用生ゴミ処理機を導入し、ゴミ減量化を図るとともに、町民の皆さまへの意識醸成と具体的な啓発活動を積極的に推進してまいります。

海洋環境保全に資するとともに、河川環境保全への波及効果を目指して、海岸漂着物および漂流・海底ごみの回収処理事業を新たに実施します。

八代市が建設予定の新たな環境センターでの広域処理につきましては、現在、氷

川町、八代市、八代生活環境事務組合の3者による協議を実施しておりますが、さらに踏み込んだ協議を重ねてまいりますので、議員各位におかれましては、一緒にご議論いただき、歩調を合わせて進めてまいりたいと考えております。

防災・防犯対策といたしましては、氷川町地域防災計画の全面改訂ならびに地区別防災計画策定のためのモデル地区を指定し計画書策定をめぐります。

防災行政無線のデジタル化に向けた設計業務を行うとともに、新たに整備した防災備蓄倉庫における災害対応資機材および食糧などの備蓄を計画的に進めてまいります。

八代広域行政事務組合消防分署建設基本計画に基づく、鏡消防署氷川分署の建設に向け、実施設計と造成工事を実施します。



▲鏡消防署氷川分署の建設予定地

消防団および自主防災組織を核とした地域防災体制の充実と地域ぐるみで見守る防犯体制の確立を図ります。

特に、消防団につきましても、団員の確保に努めるとともに、消防活動資機材および施設整備を行い、活動環境の充実と改善を図ります。

下水道事業について、竜北地区は、交付金の削減により当初計画より2年延長が見込まれますので、財源の確保に努めるとともに、宮原処理区の八代北部流域下水道への編入に向け、維持管理計画の策定とともに、関

係機関との協議を進めてまいります。

集落内の道路・河川および排水路につきましては、氷川町道路整備基本計画と地区からの要望との整合性を図りながら、社会资本整備事業を積極的に活用しつつ、優先順位を付けて整備を行うこととしています。

また、大野交差点の改良ならびに浜牟田橋下流の河川敷の整備については、熊本県が実施主体となつて事業を進められています。

町が管理する既設の橋梁については、橋梁の長寿命化修繕計画に基づき、優先順位を付けて改良工事を行います。

町内の住宅建築物の安全性の確保と耐震性の向上を図るための住宅・建築物耐震改修促進計画に基づき、戸別住宅耐震診断事業およびアスベスト調査分析事業を継続して取り組みます。

また、公営住宅等長寿命化計画に基づき、桜ヶ丘団地3棟の改修を行います。

定住促進施策の一環として、新規事業で空き家バンクに登録した空き家リフォーム助成、引越し費用および家財撤去費の助成を行うとともに、空き店舗および遊休農地などの情報発信を行い、町外はもとより県外からの移住者の受け入れを行う移住定住促進事業の充実を図ります。



▲空き家バンク制度を活用し定住促進へ

住民自治を支える 行政運営の推進

行政運営には、必要性、計画性、実行性、継続性、創造性が重要と考えます。

第1次氷川町総合振興計画の後期5年の計画と地区別計画ならびに氷川町人口ビジョン、総合戦略を基本に行政運営を進めるとともに、平成30年度以降の第2次氷川町総合振興計画の策定業務に着手します。

町行政のすべての事務事業の評価を行いましたので、評価結果を精査し、今後の効率的な行政運営と適正な人事管理の構築に活用します。

住民主役のまちづくりを進めていく上では、町民の皆さまとの対話と協調が重要であり、これまで町の政懇談会の参加状況を踏まえて、方法を若干変更し、町政懇談会を実施するとともに、情報を共有する必要があり、出来る限りの情報提供に努めてまいります。



▲町政懇談会の様子

堅実な行財政運営を行うためにも、行政改革プランの進捗状況を確認し、漸次必要を見直しを図りつつ、その計画に基づいた改革を確実に実践するとともに、次期計画の策定に向けた取り組みを始めます。

さらに効率のよい機能的な行政組織とするため、今後の公共施設の管理運営計画を策定するとともに、その原動力である役場機構の改革と職員の能力開発にも尽力してまいります。

大空町との友好関係も大切にしてまいりたいと考えておりますので、人材交流および物産の相互交流を活発にし、友好の絆を深めてまいります。

以上、5つのまちづくり戦略を平成28年度の町政運営の基本方針として、安心して暮らせ、幸せを実感できる持続可能な氷川町の創造を目指して、全身全霊を傾注して、危機感と緊張感を持って取り組んでまいり、町民各位のより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

氷川町長 藤本 一臣